

## 令和2年度 事業計画

静岡県私学協会

令和2年度の事業計画は、加盟校相互の連携と協力によって、次の事業を重点に行う。

### 1. 県私学振興課への対応

静岡県15歳人口の減少に対応する施策を考える。

私立高校授業料の実質無償化の拡充に伴って、私立高校の学則定員のあり方について検討する。

### 2. 県校長会への対応

入試について、再募集試験の広報に努める。

東部、中部、西部支部会ごとに、各支部は副会長、支部長、監事が窓口となって、校長会の地区進路委員会と信頼、協力関係を作ること。

従来の支部校長会の構成メンバーに理事長を加えて各法人の責任ある意見を反映させる。

### 3. 県教委への対応

公立高校は全日制進学予定者の2/3(私立高校は学則定員以内)の生徒の受け入れに対して、新たな見直し策を提案し協議する。

県外から入学する生徒の取り扱いについて、引き続き公私立の収容定員に反映する。

公私立中学生の内部進学者の取り扱いについて、将来的に公私立の収容定員に反映することを協議する。

公立高校の統廃合と、私立高校の少ない地区で私学の共存する配慮について検討する。

### 4. (公社)静岡県私学教育振興会と事業の一元化に向けて

運営役員会の設置

退職資金交付事業と、振興基金貸付事業の定期的な検診

### 5. 静岡県議会私学振興議員連盟といっしょになって、私立小・中・高等学校の学校経営の健全化に向けて協議する。

### 6. 私学三団体と保護者会が連携した私学振興ふじのくに大会を開催する。

## [1] 私学振興予算対策

### (1) 国に対する私学振興の予算対策

- ・ 日本私立中学高等学校連合会の活動に対する協力
- ・ 本県出身の国会議員に対する予算の陳情

### (2) 県に対する私学振興の予算対策

- ・ 令和3年度 私学振興予算対策
- ・ 県及び県議会私学振興議員連盟に対する予算陳情と意見交換会の開催

### (3) 市町に対する私学振興対策

- ・ 私学振興予算対策

## [2] 私立小・中・高等学校振興対策

### (1) 小学校振興対策

- ・ 小学校振興対策委員会の開催
- ・ 日本私立小学校連合会との連携

### (2) 中学校振興対策

- ・ 私立中学校長部会の開催
- ・ 生徒募集対策
- ・ 公立小学校長と私立中学校長との連絡会の開催
- (3) 高等学校振興対策
  - ・ 生徒募集対策
  - ・ 静岡県公立高等学校協議会、同連絡会・同連絡部会への対応
  - ・ 高等学校の収容のあり方
  - ・ 学則定員での生徒募集
  - ・ 入試方法の周知
- (4) 私学振興ふじのくに大会  
静岡県私学に学ぶ児童生徒の保護者、教職員の総力を結集して大会を11月9日(月)に開催し、県、並びに県議会各会派へ陳情を行う。

### [3] 広報事業

- (1) 広報委員会の開催
- (2) 私学教育に関する刊行物の作成配布
- (3) 「静岡県の私立学校」の刊行
- (4) 私立中学・高等学校による紙面授業の実施
- (5) 新聞による入試広報
- (6) インターネットによる私学情報の提供
- (7) 3地区・合同学校相談会の開催
- (8) 「私立高校授業料の実質無償化」の紹介パンフレット作成

### [4] 私学教職員・児童・生徒の表彰

- (1) 勲章、褒章、大臣表彰等候補者の推薦
- (2) 県知事表彰等候補者の推薦
- (3) 表彰規程に基づく表彰
  - ・ 奨励賞
    - ア 永年勤続教職員表彰
 

20年	静岡県私学教育振興会	理事長 表彰
30年	日本私立中学高等学校連合会	会長 表彰
35年以上	静岡県私学教育振興会	理事長 表彰
    - イ 文化・体育表彰
    - ウ 優秀教員表彰
    - エ 生徒・児童の一般表彰
    - オ 福祉や奉仕活動の表彰
  - ・ 善行賞
    - ア 福祉や地域社会の奉仕活動の表彰
    - イ 人命救助・災害防止等の表彰

### [5] 生徒指導対策

- (1) 生徒問題研究委員会の開催
  - ・ 私学教育振興会 生徒指導専門部会や、県教委に設置のいじめ問題対策連絡協議会と連携して、青少年健全育成、非行防止対策、不登校対策等の諸問題究明と指導を図る
  - ・ 静岡県が実施する「スクールネットパトロール」への協力
- (2) 交通安全対策

**[6] 私立小・中・高等学校地震防災対策**

- (1) 地震防災総合訓練等の実施  
(国・県・市町村・自主防災組織等に協力して、学校毎に実施する)
- (2) 児童・生徒に対する地震防災知識の普及

**[7] 私学教職員・生徒等の福利厚生事業**

- (1) 私学教員、児童・生徒等に対する慶弔・見舞金の給付
- (2) 私立学校振興・共済事業団への協力

慶 弔

区 分	教 職 員	児 童・生 徒
結 婚	祝 金 3,000 円	
病 気	見舞金 3,000 円	
死 亡	弔慰金 5,000 円 (私学協会長の生花・弔電)	弔慰金 3,000 円 (私学協会長の弔電)

災害見舞

区 分	教 職 員	児 童・生 徒
火 災	全 焼 見舞金 10,000 円	見舞金 7,000 円
	半 焼 " 5,000 円	" 5,000 円
水 害	全 壊 " 10,000 円	" 7,000 円
	半 壊 " 7,000 円	" 5,000 円
	床上浸水 " 5,000 円	" 3,000 円

**[8] 私学教員志願者の紹介**

- (1) 広く優秀な人材を確保するため、大学3年生も対象にした教員適性検査を実施する。  
期 日 令和2年8月30日(日)  
会 場 静岡学園中学校・高等学校
- (2) 履歴書委託制度の充実

**[9] 学校保険の合同加入契約**

- (1) 賠償責任保険  
損害保険ジャパン日本興亜株式会社と団体契約を提携して、学校諸施設の欠陥、整備上のミス等により学校管理下における児童・生徒または第三者の人身事故が発生した場合や、学校施設の内外で他人からの預り品に生じた事故に対して保険金を支払う制度である。  
なお、令和2年度の掛金は児童・生徒一人当たり83円で、保険期間は令和2年4月1日午後4時より令和3年4月1日午後4時までである。

区 分	限度額(1 事故)	限度額(1 名)	免責金額
身体	6 億円	1 億 3,000 万円	1,000 円
財物	200 万円	—	1,000 円
受託物	300 万円	—	5,000 円

- (2) 私立高等学校受験生の傷害保険合同加入  
県校長会から私立高等学校ごとの一日体験入学等への参加も傷害保険の加入を強制されていることから、各私立高校ごとに対応して加入するよう推奨する。

(3) 児童・生徒・教職員の総合保険合同加入について検討する。

**[10] 私立中学・高校生による料理レシピアイデアコンテスト、同昼食会の開催**

教員部会が中心となって、令和2年11月9日(月)に中学・高校生料理レシピアイデアコンテストの優秀作品による昼食会と、同日に私学振興ふじのくに大会を開催する。

**[11] 国際交流事業への対応**

・静岡県私学教育振興会が実施する教職員海外派遣事業に協力する。

**[12] (公社)静岡県私学教育振興会と事業の一元化に向けて**

県内私立小・中・高等学校の振興策は静岡県私学協会で協議して来たが、今後は静岡県私学教育振興会の事業と一元化するため、当分の間、運営役員会を設置してこの移行策を検討する。

**[13] 県内関係諸機関・団体との連携**

私学の振興に資するため、関係諸団体と連携を図る。

**[14] 中央私学団体との連携**

- ・ 日本私立中学高等学校連合会
- ・ (一財)日本私学教育研究所
- ・ 日本私立小学校連合会
- ・ 全国私立学校審議会連合会
- ・ (一財)私学研修福祉会
- ・ 日本私立学校振興・共済事業団
- ・ 全国高等学校長協会
- ・ 全国普通科高等学校長協会

**[15] 県外私学との各種連携**

- (1) 各県の私学振興方策の情報・資料の交換
- (2) 県外私学関係者の本県視察調査等について協力